

おじいちゃんの野菜のひみつ

東部小・5 杉山 健斗

ぼくのおじいちゃんは、おいしい野菜をたくさん作っています。おじいちゃんは暑い日も、ぼくが学校へ行くときには、通学路のちゆうにある畑で働いています。早いときには、みんなが起きる前から働いていることもあります。そんなおじいちゃんのお手伝いをしてみたいと思って、畑につれていってもらいました。お手伝いをする服そうは、長そで、長ズボン、ぼうし、長ぐつ、手ぶくろです。暑い夏に全身がかくれていたので、準備をしただけであせをかいてしまいました。ぼくはおじいちゃんに長そで、長ズボンを着る理由を聞きました。するとおじいちゃんは、

「太陽の熱から、はだを守っているんだよ。あとは害虫や草にも気をつけているよ。」

と教えてくれました。暑いのに大変だと思いました。準備ができたから、いよいよお手伝いの始まりです。

まず一つ目は、野菜の水やりです。水やり用のボトルは、大きなボトルに入っていて、一本四リットルあるそうです。それを七本分、合計二十八リットルの水を使います。ぼくは、こんなに水をやるのかとおどろきました。ぼくが水やりをした野菜は、サトイモとトウモロコシです。おじいちゃんが水やりをした野菜は、ナス、キュウリ、モロヘイヤ、オクラ、トウガラシ、ピーマン、ツルムラサキ、ズッキーニ、黒ウリです。たくさん野菜全部に毎日水をあげてい

て、大切に育てているのだなと思いました。

二つ目は、草取りです。草取りの道具を借りて、草を取りました。おじいちゃんから、

「すぐ草が出てこないように、ていねいに根っこまで取ってね。」と言われました。でも、土が思っていたよりも固くて、うまく根っこから取れませんでした。とても大変な作業でした。おじいちゃんと二人で二時間近くかかりました。うまくできなくて苦労しているとき、おじいちゃんは、となりでどんどん草を取っていました。速いし、きれいに取れていて、同じ土だと思えませんでした。おじいちゃんはすごいと思いました。

最後のお手伝いは、一番やりたかったしゅうかくです。ぼくはナスのしゅうかくをしました。ぼくの手ぐらいの大きさのものは十分な大きさだと思ったけど、おじいちゃんに

「まだそれは早いよ。」

と言われて、まだ大きくなるのかとおどろきました。しゅうかくは草取りよりもかん単にできて楽しかったけど、しゅうかくするタイミングはむずかしいと思つたし、これまでに苦労がたくさんあるということがわかりました。ぼくは、おじいちゃんに野菜を作っていて大変なことはないのか聞いてみました。

「草がたくさん生えてこまるなあ。害虫のくじよも大変だし、最近雨がふらないから水やりも大変だなあ。種まきも大変だよ。」と教えてくれました。こんなに大変なことがたくさんあるのに、毎日ぼくたちのために気持ちをこめて作ってくれていてすごいことだと思いました。

おじいちゃんは、毎朝とれたての野菜を持ってきてくれます。そ

の中には、ぼくがあまり好きではないナスやキュウリも入っています。お母さんが、

「おじいちゃんが作ってくれたナスだよ。」

と言つてナスのみそしるを作ってくれました。飲んでみたらおいしかったです。キュウリもポテトサラダやマカロニサラダに入れてくれておいしく食べることができました。おじいちゃんが作る野菜で大好きなものもたくさんあります。あまくておいしいトウモロコシやカボチャをぼくは毎年楽しみにしています。おじいちゃんが作る大根で、おばあちゃんがそれを切りぼし大根にしてから作るものも大好きです。一人で一皿食べられるくらいおいしいです。この切りぼし大根を食べるといつも元気がでできます。

ぼくはお手伝いをしてみて、おじいちゃんの野菜がおいしいひみつを知ることができました。それは、おじいちゃんが愛情をこめて大切に育てていねいに育てていること、それをお母さんやお父さん、おばあちゃんが心をこめて料理していることです。だからおじいちゃんの野菜はおいしいのだと思います。これからぼくは、食べ物はもちろん、それを作っている人の気持ちや料理をしてくれる人の気持ちも大切にしたい、ごはんを食べたいと思います。そして、また、おじいちゃんといっしょにみんなの喜ぶ顔を想像しながら畑仕事をしたいと思いました。